

令和 8 年度 年間授業計画 教科 家庭 科目 ファッション造形基礎

教科: 家庭 科目: ファッション造形基礎 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年

使用教科書: 実教出版 ファッション造形基礎

教科 家庭 の目標:

【知識及び技能】	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を関るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目 ファッション造形基礎 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
被服の構成、被服材料の種類や特徴、被服製作などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	被服製作やデザインに関する課題を発見し、ファッションの造形を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	衣生活の充実向上を目指して自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
単元 1 被服の構成と衣生活	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。					
	【知識及び技能】 ・指導事項 衣服の構成や形状、人体との関係について理解する。	被服構成の特徴 体形の特徴	【知識及び技能】 衣服の構成や形状、人体との関係について理解したか				
	【思考力、判断力、表現力】 ・教材 衣服や体型の特徴、動作によって適した衣服について考え、体型や服装の特徴を理解しながら描画する。	教科書	【思考力・判断力・表現力】 衣服や体型の特徴、動作によって適した衣服について考え、体型や服装の特徴を理解しながら描画することができたか。	○	○	○	4
	【学びに向かう力、人間性等】 ・一人1台端末の活用(場面) 主体的に自分や家族などを例として、年齢や体型、さまざまなケースに適合する衣服に対して関心を持つ。	描画実習	【学びに向かう力、人間性等】 主体的に自分や家族などを例として、年齢や体型、さまざまなケースに適合する衣服に対して関心を持つことができたか。				
単元 2 ファッション用語の理解	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。					
	【知識及び技能】 ・指導事項 ファッションに関する用語や色彩の関係について理解する。	ファッション用語の理解 色彩の知識	【知識及び技能】 ファッションに関する用語や色彩の関係について理解したか。				
	【思考力、判断力、表現力】 ・教材 ファッション用語に応じた描画をするともに、自分や他人の色彩について考える。	教科書	【思考力・判断力・表現力】 ファッション用語に応じた描画をするともに、自分や他人の色彩について考えられたか。	○	○	○	6
	【学びに向かう力、人間性等】 ・一人1台端末の活用(場面) 主体的にファッション用語や色彩に対して関心を持つ。	描画実習	【学びに向かう力、人間性等】 主体的にファッション用語や色彩に対して関心を持つことができたか。				
1 学期 単元 3 洋服の基礎技術	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。					
	【知識及び技能】 ・指導事項 洋服の形態について理解する。	洋服の構成について 用具の扱い方と基本的な技法	【知識及び技能】 洋服の形態について理解したか。				
	【思考力、判断力、表現力】 ・教材 計画した衣服を制作するためにどの布地が適切なのか考え、縫い方や断ち方など考える。	教科書	【思考力・判断力・表現力】 計画した衣服を制作するためにどの布地が適切なのか考え、縫い方や断ち方など考えられたか。	○	○	○	6
	【学びに向かう力、人間性等】 ・一人1台端末の活用(場面) 制作の準備として基礎的知識と技術を主体的に学ぼうとしている。また、目的に合わせて一通りの制作過程を意欲的に計画する。	技法動画視聴	【学びに向かう力、人間性等】 制作の準備として基礎的知識と技術を主体的に学んだか。また、目的に合わせて一通りの制作過程を意欲的に計画したか。				
単元 4 洋服の制作 1	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。					
	【知識及び技能】 ・指導事項 立体構成について理解し、洋服の種類に応じた適切な制作手順を身に付け、デザインを形にできる計画性と技術を向上させる。	立体構成被服実習 ミニチュアパーカー制作	【知識及び技能】 立体構成について理解し、洋服の種類に応じた適切な制作手順を身に付け、デザインを形にできる計画性と技術を向上させたか。				
	【思考力、判断力、表現力】 ・教材 制作に必要な技法を自分の製作する作品に表現している。	教科書・制作キット	【思考力・判断力・表現力】 制作に必要な技法を自分の製作する作品に表現できたか。	○	○	○	6
	【学びに向かう力、人間性等】 ・一人1台端末の活用(場面) 自分から課題を見つけ、制作計画を立て工夫しながら実習に取り組んでいる。	技法動画視聴	【学びに向かう力、人間性等】 自分から課題を見つけ、制作計画を立て工夫しながら実習に取り組めたか。				
定期考査(第1学期期末考査)/返却と解説							

令和 **8** 年度 年間授業計画 教科 **家庭** 科目 **ファッション造形基礎**

教科: **家庭** 科目: **ファッション造形基礎** 単位数: **2** 単位

対象学年組: 第 **2** 学年

使用教科書: **実教出版 ファッション造形基礎**

教科 **家庭** の目標:

【知識及び技能】	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を関るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目 **ファッション造形基礎** の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
被服の構成、被服材料の種類や特徴、被服製作などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	被服製作やデザインに関する課題を発見し、ファッションの造形を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	衣生活の充実向上を目指して自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元 5 洋服の制作 2 【知識及び技能】 立体構成について理解し、洋服の種類に応じた適切な制作手順を身に付け、デザインを形にできる計画性と技術を向上させる。 【思考力、判断力、表現力】 制作に必要な技法を自分の製作する作品に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 自分から課題を見つけ、制作計画を立て工夫しながら実習に取り組んでいる。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 立体構成について理解し、洋服の種類に応じた適切な制作手順を身に付け、デザインを形にできる計画性と技術を向上させたか。				8
	・教材	【思考力・判断力・表現力】 制作に必要な技法を自分の製作する作品に表現できたか。	○	○	○	
	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】 自分から課題を見つけ、制作計画を立て工夫しながら実習に取り組めたか。				
	技法動画視聴					
	教科書・制作キット					
単元 6 和裁の基礎技術 【知識及び技能】 和服の形態について理解する。 【思考力、判断力、表現力】 計画した衣服を制作するためにどの布地が適切なのか考え、縫い方や断ち方など考える。 【学びに向かう力、人間性等】 制作の準備として基礎的知識と技術を主体的に学ぼうとしている。また、目的に合わせて一通りの制作過程を意欲的に計画する。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 和服の形態について理解したか。				8
	・教材	【思考力・判断力・表現力】 計画した衣服を制作するためにどの布地が適切なのか考え、縫い方や断ち方など考えられたか。	○	○	○	
	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】 制作の準備として基礎的知識と技術を主体的に学ぼうとしている。また、目的に合わせて一通りの制作過程を意欲的に計画したか。				
	技法動画視聴					
	教科書					
2 学 期 単元 7 和裁の制作 1 【知識及び技能】 平面構成について理解し、洋服の種類に応じた適切な制作手順を身に付け、デザインを形にできる計画性と技術を向上させる。 【思考力、判断力、表現力】 制作に必要な技法を自分の製作する作品に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 自分から課題を見つけ、制作計画を立て工夫しながら実習に取り組んでいる。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 平面構成について理解し、洋服の種類に応じた適切な制作手順を身に付け、デザインを形にできる計画性と技術を向上させたか。				8
	・教材	【思考力・判断力・表現力】 制作に必要な技法を自分の製作する作品に表現できたか。	○	○	○	
	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】 自分から課題を見つけ、制作計画を立て工夫しながら実習に取り組めたか。				
	技法動画視聴					
	教科書・制作キット					
単元 8 和裁の制作 2 【知識及び技能】 平面構成について理解し、洋服の種類に応じた適切な制作手順を身に付け、デザインを形にできる計画性と技術を向上させる。 【思考力、判断力、表現力】 制作に必要な技法を自分の製作する作品に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 自分から課題を見つけ、制作計画を立て工夫しながら実習に取り組んでいる。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 平面構成について理解し、洋服の種類に応じた適切な制作手順を身に付け、デザインを形にできる計画性と技術を向上させたか。				8
	・教材	【思考力・判断力・表現力】 制作に必要な技法を自分の製作する作品に表現できたか。	○	○	○	
	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】 自分から課題を見つけ、制作計画を立て工夫しながら実習に取り組めたか。				
	技法動画視聴					
	教科書・制作キット					
定期考査(第2学期中間考査)/返却と解説						
定期考査(第2学期期末考査)/返却と解説						

令和 **8** 年度 年間授業計画 教科 **家庭** 科目 **ファッション造形基礎**

教科: **家庭** 科目: **ファッション造形基礎** 単位数: **2** 単位

対象学年組: 第 **2** 学年

使用教科書: **実教出版 ファッション造形基礎**

教科 **家庭** の目標:

【知識及び技能】	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を関るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目 **ファッション造形基礎** の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
被服の構成、被服材料の種類や特徴、被服製作などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	被服製作やデザインに関する課題を発見し、ファッションの造形を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	衣生活の充実向上を目指して自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元 9 ファッションの歴史 【知識及び技能】 ファッションに関する歴史や著名人について理解する。 【思考力、判断力、表現力】 ファッションの歴史を学んだうえで、オリジナルのデザインを考案する。 【学びに向かう力、人間性等】 ファッションの歴史や流行のデザインについて、意欲的に学ぶ。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				2
	・指導事項	【知識及び技能】				
	著名なデザイナー 流行の歴史	ファッションに関する歴史や著名人について理解したか。				
	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	
	教科書	ファッションの歴史を学んだうえで、オリジナルのデザインを考案できたか。				
・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】					
調べ学習	ファッションの歴史や流行のデザインについて、意欲的に学んだか。					
単元 10 アパレル業界について 【知識及び技能】 アパレルに関する職業や、既製品の生産から消費の流れについて理解する。 【思考力、判断力、表現力】 アパレルに関する職業について理解した上で、自分で企画や説明をする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 アパレルに関する職業に興味を持ち、計画的に情報発信するための材料を作る。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				2
	・指導事項	【知識及び技能】				
	アパレルに関する職業 既製品ができるまで	アパレルに関する職業や、既製品の生産から消費の流れについて理解したか。				
	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	
	教科書	アパレルに関する職業について理解した上で、自分で企画や説明をする力を養うことができたか。				
・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】					
調べ学習	アパレルに関する職業に興味を持ち、計画的に情報発信するための材料を作れたか。					
単元 11 立体的断1 【知識及び技能】 ドレーピングについての基礎的な技術を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 自分と他人の意見を尊重し合いながら、デザインを考え、作品を協働制作する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分から課題を見つけ、制作計画を立て工夫しながら実習に取り組んでいる。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				6
	・指導事項	【知識及び技能】				
	ドレーピング	ドレーピングについての基礎的な技術を理解したか。				
	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	
	教科書	自分と他人の意見を尊重し合いながら、デザインを考え、作品を協働制作することができたか。				
・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】					
調べ学習	自分から課題を見つけ、制作計画を立て工夫しながら実習に取り組めたか。					
単元 12 立体的断2 【知識及び技能】 ドレーピングについての基礎的な技術を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 自分と他人の意見を尊重し合いながら、デザインを考え、作品を協働制作する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分から課題を見つけ、制作計画を立て工夫しながら実習に取り組んでいる。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				6
	・指導事項	【知識及び技能】				
	ドレーピング	ドレーピングについての基礎的な技術を理解したか。				
	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	
	教科書	自分と他人の意見を尊重し合いながら、デザインを考え、作品を協働制作することができたか。				
・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】					
調べ学習	自分から課題を見つけ、制作計画を立て工夫しながら実習に取り組めたか。					
定期考査(学年末考査)/返却と解説						

3 学期